

高野山真言宗
紫雲山菩提院
西光寺

四国三十三観音霊場
第2番札所
百八観音霊場
第41番札所



題字 先住興源僧正筆

〒771-1702
徳島県阿波市
阿波町稲荷53
TEL 0883-35-2784
ホームページ
<https://saikouji.tokushima.jp>
発行所 西光寺
発行人 澤 善弘



8月15日 (木) 午後7時
仏送り
先祖供養の護摩供
送り火を焚き祈ります

理解だけより
もっと大事なものを



総代長 中井 邦武

法話集や高野山教報に掲載されている法話、その他のいろいろな書物を読んでも、内容の理解は、何とか出来ていると思っ
ていますが、時間が経過すると記憶すら薄らいで
しまいます。そんな訳で
日ごろから心の中に読後
もたもたが残っていました。

それが五木寛之さんの書物から、真相や本質が解かるような気分になせ
られました。「目から鱗
が落ちる。」ってこんな
時に言うのだと思いまし
た。作家五木寛之さんの
作品に百寺巡礼(国内版
十巻、海外版五巻)の抜
粋された書物に次のよう
なことがあります。

「仏教は、知識ではない。生活のノウハウでもない。この生き難い世に生きていく私たちの魂の食べものだ。私はそう感じる。理論だけなら経典を読めばいい。しかし、書物からでは伝わらないことがある。大事なものが肉声にはある。顔の表情にも、声にもある。そういうものを感じとって
いく、理解するだけでなく、感じるのである。」
と述べられています。

今までの読書が、内容の理解だけに終わっていたり、人と言葉をかわす対話においても内面に達していたか危惧していま
す。

これからは、読書や法話の拝聴などあらゆる場において、五木寛之さんの教えのとおり理解する
だけでなく、感じとること
が出来よう、心に深く受け止め、魂を磨き生
老病死の四苦に少しでも
打ち克てるよう精進した
い。



お盆の作法

お迎えとお送り

お盆は、ウラバーナ（逆さつりの苦しみ）というインドの言葉を語源とします。

誰もが抱くむさぼりの心を縁として、死後飢えの苦しみの世界（餓鬼道がきどう）に堕ちた魂たちを救う供養祭がお盆です。ご先祖さまの供養と共に有縁の魂の成仏を願う修行の期間なのです。

お盆のおまつりごとに、より、施しの心を養い、自他のいのちの在り方に気づき、日々に手を合わせることで知らず知らずのうちに魂に徳分（よいエネルギー）を集めることとなります。

お盆の本義はここにあります、それがご先祖さまの供養につながるのです。初盆をお迎えする方だけではなく、お盆の供養は毎年行いましょう。

一 お迎えする

① 祭壇の準備。仏壇ですまつる場合もあります。

② お墓参りに行く。

③ 魂をお迎えする。諸作法あります。

其一、お華で迎える
墓所にて「お迎えにあがりました」と申しあげ華立から一枝いただいて持ち帰り、祭壇の華瓶にまつります。お華が魂の乗り物となります。

其二、迎え火を焚く
肥松（こえまつ）を燃やしけむりをあげます。順序は、先ず墓所、次に自宅のかどさき。迎える場所をけむりで示します。

お迎えの作法は地方によって異なり、諸説あります。高野山では、墓所にて供養した「火」を魂として行灯（あんどん）で大切に持ち帰り、祭壇のろうそくに灯します。

高野山 お盆の風景



大勢の修行僧が読経



歴代住職さまを迎えた祭壇



切子灯籠の準備

二 供養する

① お迎えしたら先ず、熱いお茶を供えます。「ようお帰り下さりました」と声に出しましょう。あの世からの旅の疲れを癒すのは、やはりお茶です。

② 読経をする。
お盆の期間、毎日、お経をお唱えしましょう。

③ 施餓鬼（せがぎ）をする（任意）。
餓鬼とは飢えの苦しみの世界に堕ちた魂です。夕方薄暗くなつた時分、祭壇に供えていた供物（例えば白ごはん）のお下がりを、家からみて東か南側の庭や畑の石などの上にそつと置き、光明真言を唱えます。

ひと昔前は、庭先に水棚（みずだな）と呼ばれる簡易な祭壇を設けて、蓮の葉に水の子（なすび、きゅうり等）をみじん切りにし、洗米を加えたものを供え、飢渴に苦しむ魂に施しをしていました。お盆にお坊さんが各家庭を拜んで回る「棚経（たなぎよう）」のルーツは施餓鬼供養にあります。

三 お送りする

お盆の終わり（15、16日）にかけて魂をお送りします

其一、祭壇のお華を墓所に供え、魂をお送りする。

其二、送り火を焚く。
送り火の場合、家のかどさき、次に墓所で煙をあげます。家のかどさきだけで良し、とも言われます。

今年はお寺で送り火を行います。ご先祖さまの供養と無事のお帰りを共に祈りいたしましょう。

人生の走り方を 考えてみる



近年、世界的に注目を集めるトレイルラン。トレイルとは山岳のことで文字通り未舗装の山道を走るスポーツです。

お大師さまが実際に歩かれた、奈良から高野山へ続く道で開かれた大会 Kobo Trail 2019に参加したときのことです。

水や携行食、防寒着等を詰め込んだリュックを背負い、約9時間かけて40数キロを走ります。

足が痛い。登っても、登っても山頂にたどり着かない。この鬼のような厳しい坂道はいつまで続くのだろうか。お金を払ってまで何故こんな苦しいことをしているのだろう、とさえ思います。

しかし、苦しんで登った分だけ、素晴らしいご褒美が待っていました。深い霧に包まれた山頂は10m先も見えない。おとぎ話のような幻想的な世界。思わずオーツツと声が漏れます。寝っ転がりしばらくの間、まっ白な天を眺めていると、自然と手が合わさりました。苦しみを越えた先には大きな感動があることを知りました。また、希望を持ち歩み続けることの大切さを学びました。

弘法大師空海さまは、「医王の目には途(みち)に触れて皆な葉なり」と説かれます。その道を極めた者は道ばたの雑草にも妙薬を見つけることができるという意味です。楽しいこと辛いことに一喜一憂するのではなくそこから何を学ぶか。生老病死、人生の苦しみすらも魂を磨く材料になり得る。そのヒントは、密度の高い意識で臨む毎日と信仰、合掌の中にあるのではないのでしょうか。

特別伝道大会 のご案内



高野山真言宗管長 葛西光義大僧正 猊下



辛坊治郎氏



本山布教師 吉武隆善僧正

- 日時 10月16日(水)
- 場所 あわぎんホール
- 参加費 二、〇〇〇円 (福祉基金と昼食代)

『四国地区特別伝道大会 生かせいのち〜大師のみおしえ令和とともに〜』が徳島で開催されます。詳細、お申込みは別紙をご覧ください。

お大師講 (弘法大師御影供) のご案内



- 日時 10月21日(月) 午後3時頃〜
- 場所 西光寺
- 参加 どなたでも無料

お大師講、別称お二十日講(おはつかこう)は少し前まで田舎を中心に営まれていました。お大師さまに祈りを捧げる信仰と交流の行事でしたが今は、殆どの地域で無くなってしまいました。阿波結衆寺院では、お大師さまへの報恩感謝の法会を行っております。この機会に、一緒に手を合わせてみませんか。

高野山の法話

提供：高野山真言宗 参与会

詳細はこちら

高野山の法話 Youtube

編集後記

最近、パソコンの調子がおかしい。動作に支障はないのだが、何故か時刻がずれていて、ズレは起動する度に大きくなってくる。人の心も同様、自分では気が付かないうちに日々誤差が生じ、目指すべき方向から逸れていることもあるようだ。そんな時、師と仰ぐ方からの一言は、刺さる。ご縁の有り難さを感じると共に檀家の皆さまにとってそのようなお寺で在りたい。

お寺の行事予定

8月盆	初盆お参り
8月15日	午後7時〜 仏送り(先祖供養の護摩供)
10月21日	午後3時〜 お大師講 弘法大師御影供 (お大師さまへ感謝の法会)
12月31日	午後10時〜 護摩供祈願 除夜の鐘
毎月	○第1土曜日 昼 般若心経 書の集い(写経) ○第2・4水曜日 夜 歌菩薩の会(ご詠歌教室)



仏壇・仏具・神具・墓石・石材工事

ぶつだんのもり

お問い合わせ、ご注文は
☎(0883)36-1115

■〒776-0001 吉野川市鴨島町
牛島字四ツ屋90-1(かもじま店)



メガネ・補聴器・宝石・時計

ジュエリー サトウ

あなたの快適ライフを応援します。

阿波町大原11-1

☎(0883)35-2306



料理

魚安

営業日/月〜土曜
定休日/日曜
営業時間/昼.11:30~14:00(要予約)
夜.17:00~

阿波町庚申原121 ☎(0883)35-7260

各宗派葬儀・御法要・花環・籠盛等

セレモニーはやし

阿波町丸山3-2

☎ (0883)35-2073
FAX (0883) 35-2736

セレモニーホール

マルミヤ

(会館葬儀・自宅葬儀・寝台車・花輪)

市場町山野上字大西181-1

☎ (0883)36-7111
FAX (0883) 36-7035

第65回徳島駅伝

阿波市駅伝チームに温かいご声援を
くださりありがとうございました。

お陰さまで10/16位でした!

阿波市史上最高順位の
成績で襷をつなげました!

次回大会に向けて精進いたします!!




太龍寺ロープウェイ

ロープウェイ ケーブルカー

で らくらく
参拝

四国八十八カ所21番	四国八十八カ所66番
太龍寺	雲辺寺
こんぴら奥の院	四国八十八カ所85番
箸蔵寺	八栗寺



八栗ケーブルカー